

海外展示館申請ゼロ

25年大阪万博 協会、建設肩代わりも

大阪・関西万博で海外のめぐり、博覧会協会が参加パビリオンの建設申請が1件も行われていない問題を

国に「建設肩代わり」など、支援策を提示していることが明らかになりました。公費負担増にもつながりかねません。

同万博は2025年に大阪市此花区の人工島「夢洲」で開催が予定されています。これまでに153カ国・地域が参加を表明し、うち約50カ国がパビリオンを申請していますが、

どの国からも建設に必要な許可申請が大阪市に行われていません。建設資材や人件費の高騰に加え、複雑な公費負担増にもつながりかねません。

同万博は大阪の維新府・博覧会協会の石毛博理事長は13日、大阪市で記者会見し、「開幕に間に合つたまにメニューで支援する」というように協会は政府とれども、建設の肩代わりは「建設の肩代わりはあくまで選択肢の一つだ」と述べました。

同万博は大阪の維新府・

大阪市政が29年開業をめざすカジノを中心とする統合型リゾート（IR）とセットで進められてきました。

万博・カジノの予定地
「夢洲」リ大阪市此花区

には協会が建設工事の発注者となるケースもあり得るとして、「建設の肩代わりはあくまで選択肢の一つだ」と述べました。

同万博は大阪の維新府・博覧会協会の石毛博理事長は13日、大阪市で記者会見し、「開幕に間に合つたまにメニューで支援する」というように協会は政府とれども、建設の肩代わりは「建設の肩代わりはあくまで選択肢の一つだ」と述べました。

大阪市政が29年開業をめざすカジノを中心とする統合型リゾート（IR）とセットで進められてきました。

ギャンブル依存症問題に加え、会場を夢洲としたことによって、土壤汚染・液状化・地盤沈下対策やアクセスへの切り替えを提案してい

ることを明らかにしました。簡単な工法の提案の中